

津幡の空から

石川県学校生活協同組合

2017・4月号

2017年度のスローガンは、 移転10周年 黒字化をめざし点検・改革・実行を進める！

理事長 細野祐治

SPRING HAS COME! 2017年の春がやってきました。野菜づくりをしている私としては、待ちに待ったという感じです。2月の寒い日が続いている時は、この月を過ごせば春が来ると思って、農作業をしていました。そして、春分の日を過ぎると野菜たちはいっせいに元気になります。いままでじっとして少しずつ育っていたものが、日に日に目に見えるくらいに大きくなっていくのです。これからは野菜づくりの本番です。

さて、石川県学校生協の4月は、組織の模様替えと人事異動です。今年度の目玉は、「企画本部」の新設です。ここで、スローガンにある「点検と改革」を組織します。そして、この本部に石川学校生協を「冬から春にする」命運がかかっています。私もその中に入って頑張ります。



マスコットのラブコ♡です

2017年2月度末 赤字920万円です。 計画より424万円改善！

(学校生協の商品をあと1,000円多く買ってくださいますようお願い申し上げます)

石川県学校生協の2017年2月末現在の経常剰余金は▲920万円です。剰余目標は▲1,344万円ですから424万円改善しています。昨年同期は▲2,134万円でしたから、大幅な改善と言えます。黒字化まであと一息の状況です。ご利用いただき本当にありがとうございました。

みなさん！何かを購入したいと思った時には、まず、学校生協で買えないかを考えてください。十分間に合うものが必ずあります。ご購入、よろしくお願い致します。あなたの学校生協です。

学校生協 虹の誓い 「信頼・安心・安全・適正・平等・協働・貢献」 7色の虹



石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

一 学校生協と私一 組織部長 上野 睦子

春と秋、年二回開催していた「学生協まつり」。私が学校生協に入ってから、毎年開催されていた大イベントでした。担当していたのはコープ商品コーナー。その頃人気の「ミックスキャロット」や「だしまかせ」などたくさんの商品を、来場して頂いた先生方にどうしたら購入して頂けるのか、ポップや陳列を一生懸命考えていました。流通会館の展示場全体が活気に溢れていたことなど、懐かしい思い出のひとつです。その後は学校用品の担当。象が乗っても割れないお道具箱「ニューハコ」、万一口に入っても害のない「軽い油土」、他社と違って音色がとて柔らかな「アウロスのリコーダー」、どれも生協らしい商品です。少しでも学校に採用して頂きたい、一生懸命選んで頂きました。

そして現在は組織部。学校生協と共に歩んできた私。ここまで成長できたことに感謝です。その時々に出会った先生方の顔を思い浮かべながら、まだまだ頑張れそうな私です(笑)

編集後記

野菜だより

春分の日が来ると露地野菜の定植開始です。まずジャガイモの植え付けです。しかし、今年は天候不順で、雨が多かったために、3月26日に植えました。およそ1週間のおくれです。野菜には、適期適作が大事ですが、1週間ぐらいは大丈夫です。

今年はキュウリの1作目をもう定植しました。もちろん露地ではなく、ビニールハウスの中です。例年は4月に入ってからなのですが、今年はもう苗が売られていました。これは1週間ほどはやいのですが、なんとか育つだろうと思っています。一年一作の経験の積み重ねが自分の野菜づくりの知恵をつくります。さて、みなさんは、どんなものを育てられていますか。◇ほその